

マスコット投票通信

Vol.4

アメリカン・スクール・イン・ジャパン

学校紹介

THE AMERICAN SCHOOL IN JAPAN (アメリカン・スクール・イン・ジャパン) は1902年に創立されました。

現在は幼稚園と初等部がある六本木キャンパス、中等部と高等部がある調布キャンパスに46カ国から1,680人の生徒が在籍しています。

色々な国の生徒がいる学校なので世界中の人が1つになれるオリンピック・パラリンピックが東京で開催されるのをみんな楽しみにしています。

授業の流れ

5年生のフォルク先生のクラス22人の生徒は、まず最初にオリンピック・パラリンピックの理念及びマスコットの役割について学びました。

過去のオリンピック・パラリンピックのマスコットをみんなで見て気づいた点などを話し合いました。

3つのマスコット候補案の動画を見て、ディスカッションをし、それぞれが意見を発表しました。

みんなの意見を聞いた後に自分が選んだ候補に1人ずつ投票をしていきました。

「イ」の案が一番票が集まったのでクラスとして「イ」に投票する事に決めました。

投票の様子



1人ずつ投票



5年生のフォルク先生のクラス

児童からの感想

- 日本らしさを感じられるマスコットがいい。
- デザインがどれもカッコよかった。
- 投票を通じてオリンピック・パラリンピックを身近に感じられて、2年後がとても楽しみです。

先生方からの感想

オリンピック・パラリンピックのマスコットを開催国の小学生が決める事は素晴らしいと思います。生徒達にとって2年後のオリンピック・パラリンピックをつくりあげるプロセスに参加できた事はとても貴重な体験になったと思います。

マスコット投票時に活用した教材等

東京2020組織委員会のウェブサイトに掲載されている動画